

ジェネリック医薬品使用促進の 取り組みについて

全国健康保険協会 東京支部
支部長 元田 勝人

目次

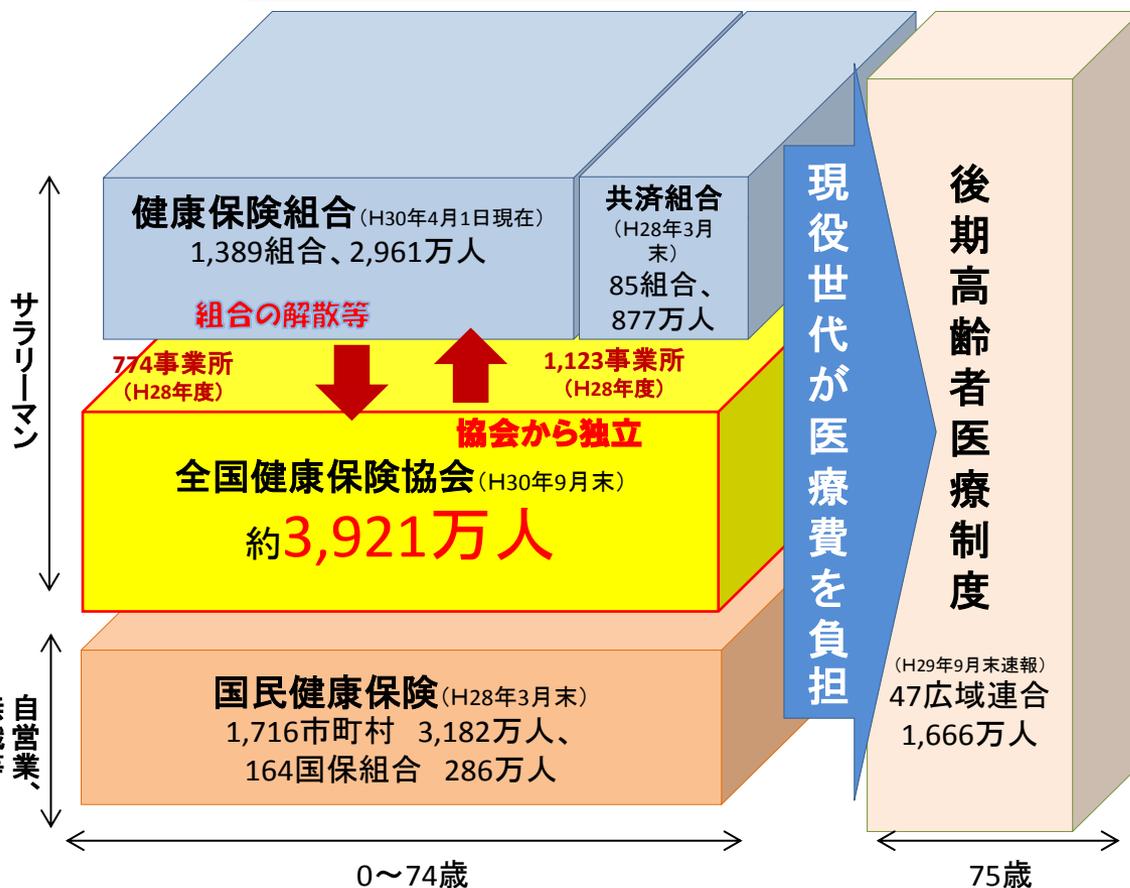
1. 全国健康保険協会（協会けんぽ）について	2
2. 協会けんぽの現状 ～ジェネリック医薬品の使用割合～	4
【参考】 国家財政の現状 ～ジェネリック医薬品使用拡大の必要性～ ...	10
3. 協会けんぽの取り組み ～ジェネリック医薬品の使用促進～.....	14

1. 全国健康保険協会(協会けんぽ)について

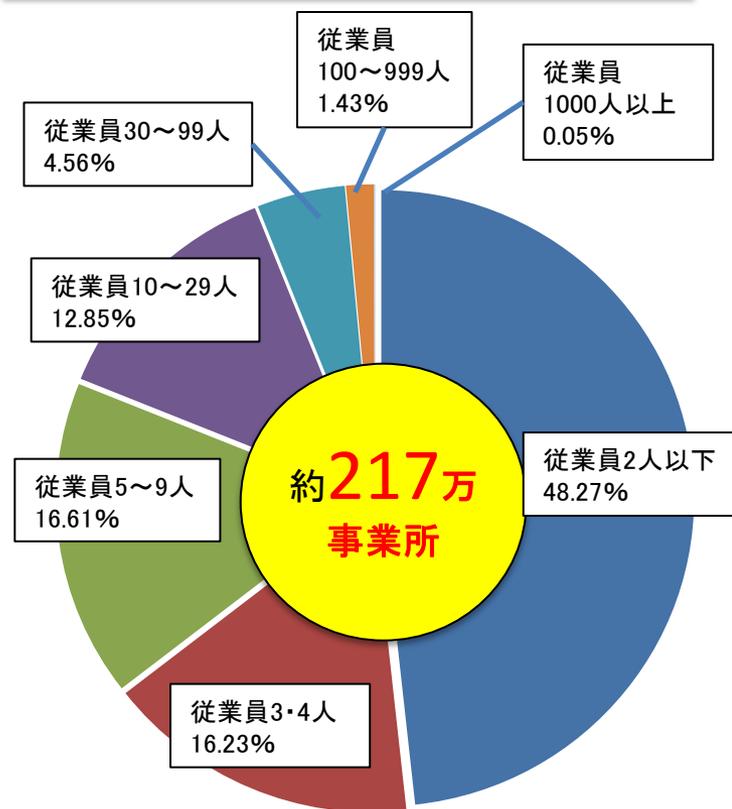
全国健康保険協会（協会けんぽ）について

- 約3,900万人（国民の3.3人に1人）が加入する**日本最大の医療保険者**。
- 中小企業・小規模事業所が多く、事業所全体の約8割が従業員9人以下。
- **東京支部**は、協会けんぽ**全体の1割以上（470万人）**を占める**最大の支部**。

各医療保険者の位置づけ



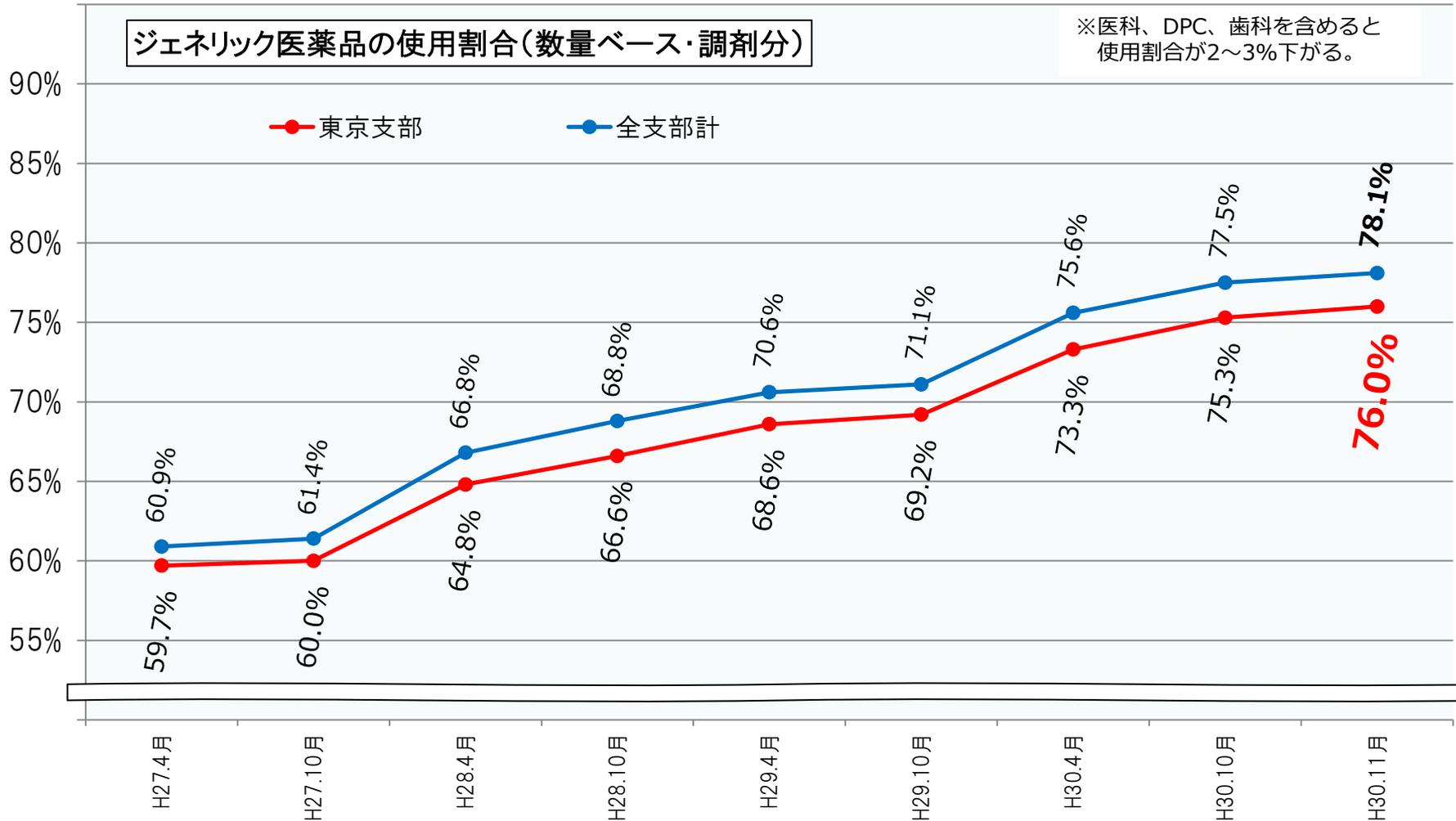
協会の事業所規模別構成 (H30年9月末)



2. 協会けんぽの現状 ～ ジェネリック医薬品の使用割合 ～

ジェネリック医薬品使用割合（推移）

○ 平成30年11月現在：東京支部76.0%（全支部平均：78.1%）



注1. 協会けんぽ（一般分）の調剤レセプト（電子レセプトに限る）について集計したもの（算定ベース）。

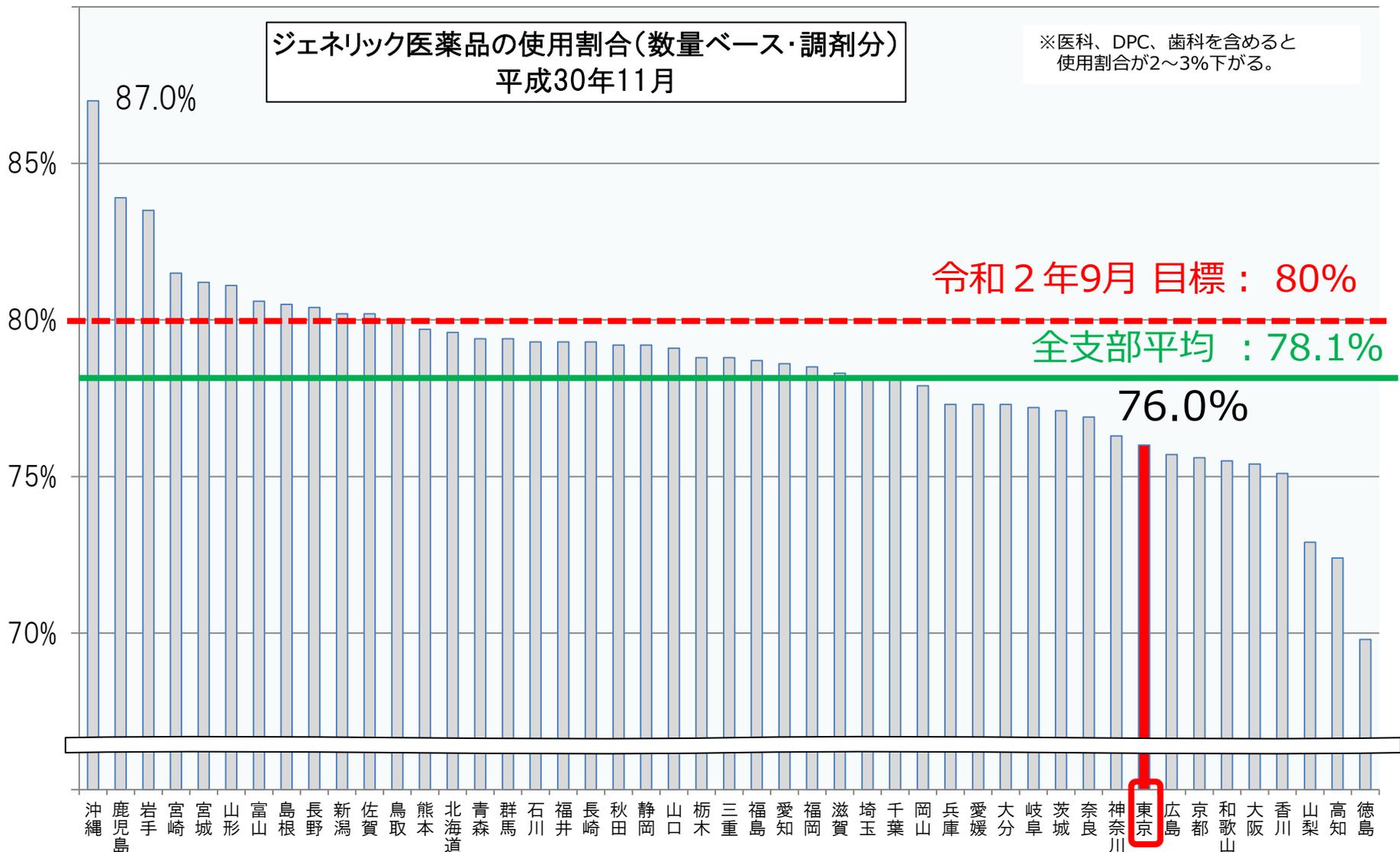
注2. 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量。

注3. 「使用割合」は、 $[\text{後発医薬品の数量}] \div ([\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量}] + [\text{後発医薬品の数量}])$ で算出。

医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。速報値。

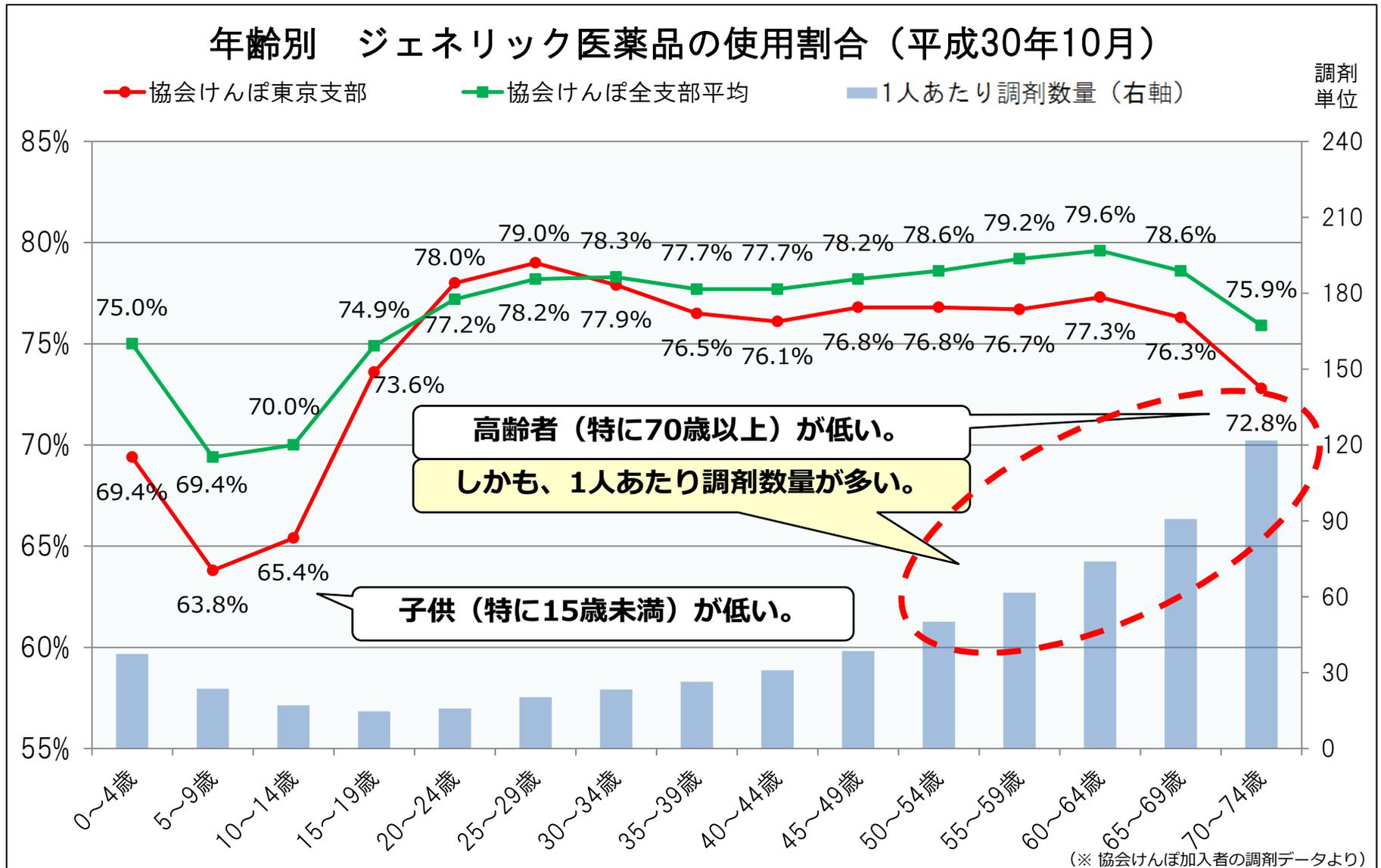
ジェネリック医薬品使用割合（都道府県別）

○ 東京は 全支部平均に比べ、約2%低い。



ジェネリック医薬品使用割合（年齢別）

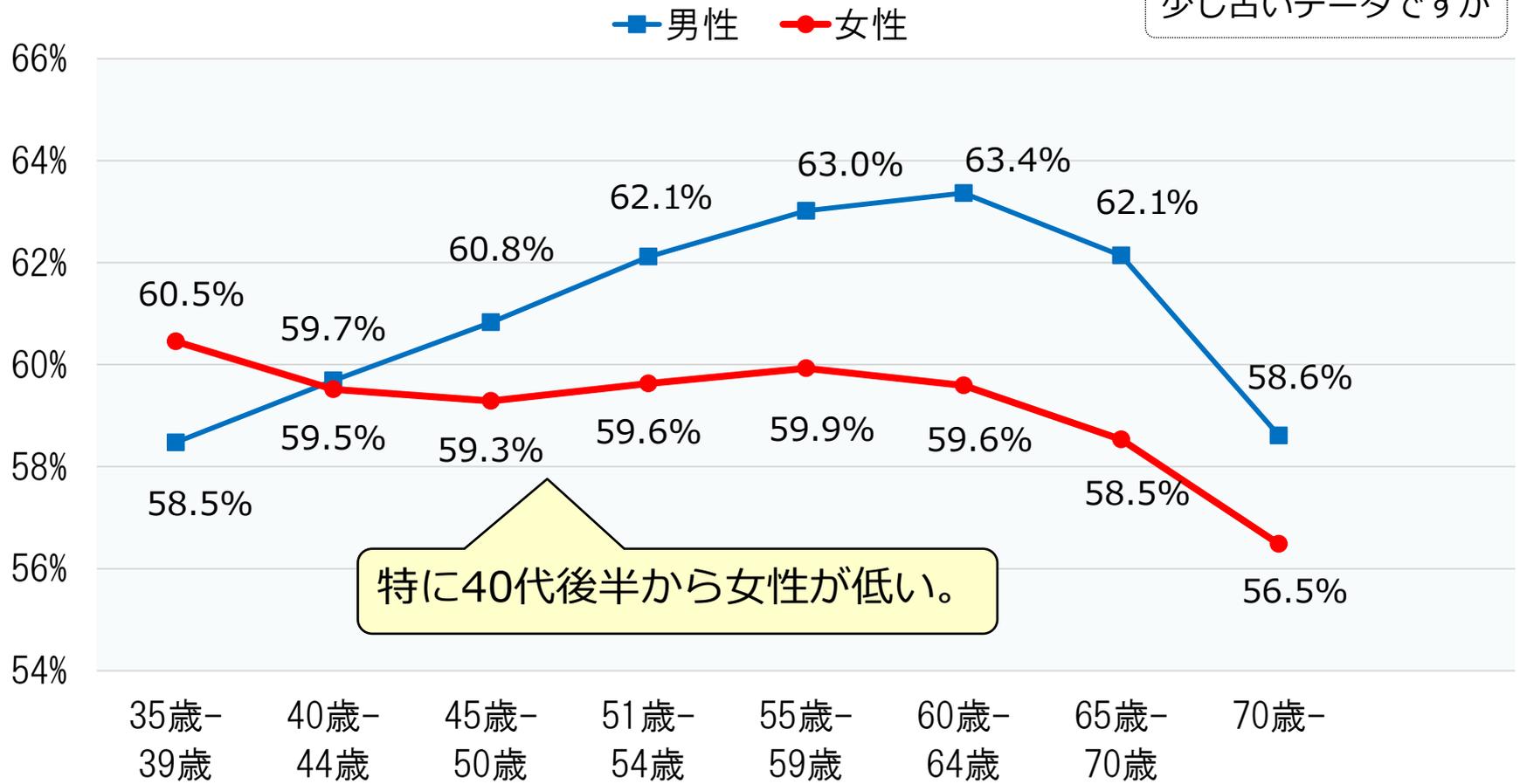
○ 子供と高齢者の使用割合が低い。



ジェネリック医薬品使用割合（性年齢別）

○ 女性の使用割合が低い。

性年齢別 ジェネリック医薬品の使用割合（平成27年5月）



(※ 協会けんぽ加入者の調剤データより)

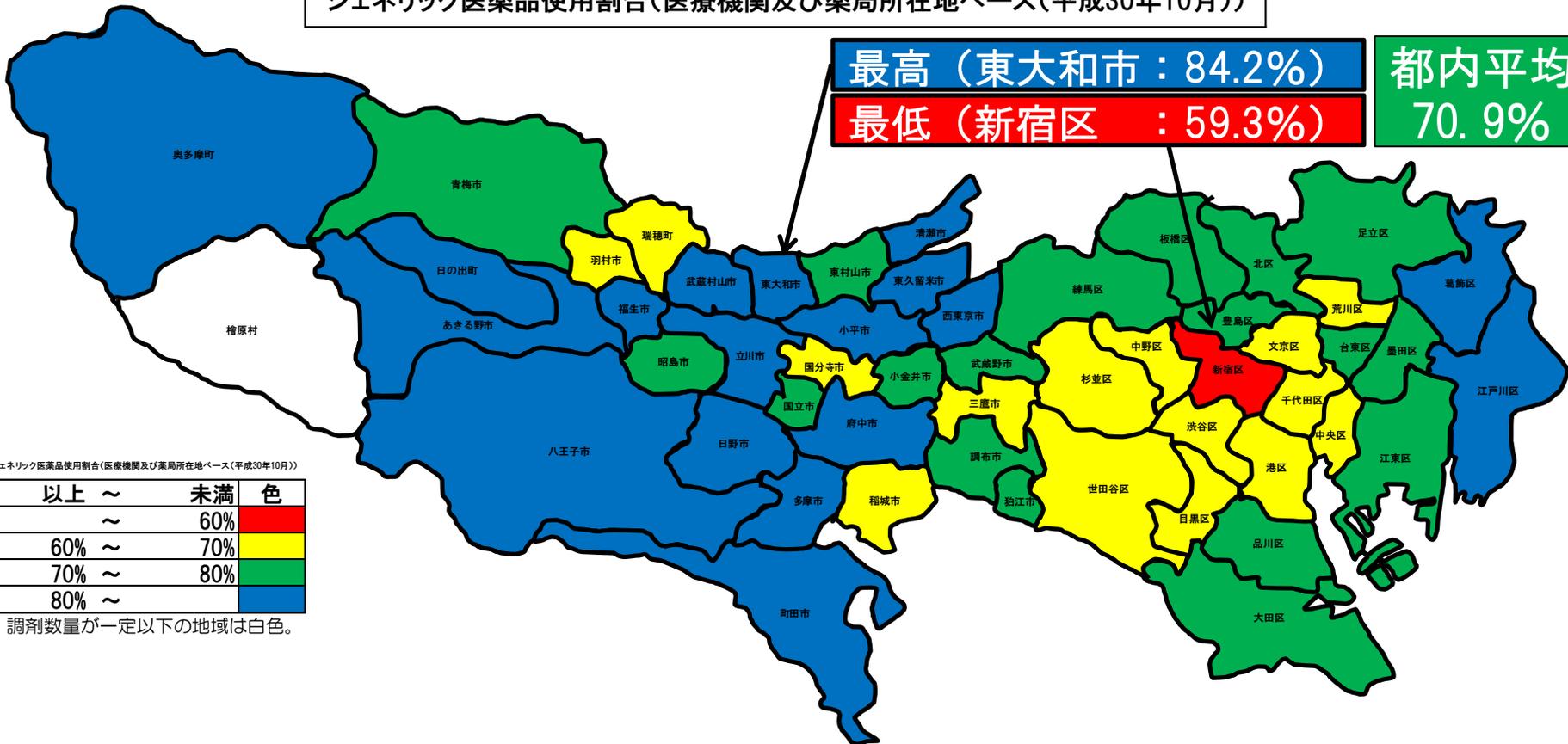
ジェネリック医薬品使用割合（市区町村別）

○ 都心部 ほど 使用割合 が 低い傾向。

ジェネリック医薬品使用割合（医療機関及び薬局所在地ベース（平成30年10月））

最高（東大和市：84.2%）
最低（新宿区：59.3%）

都内平均
70.9%



ジェネリック医薬品使用割合（医療機関及び薬局所在地ベース（平成30年10月））

以上 ~	未満	色
60% ~	70%	赤
70% ~	80%	黄
80% ~		緑
90% ~		青

※ 調剤数量が一定以下の地域は白色。



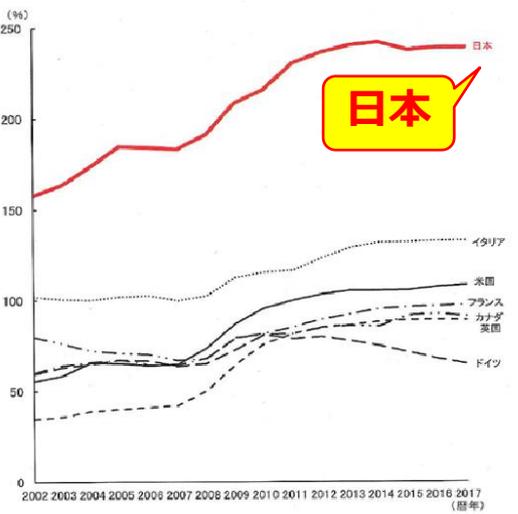
【参考】 国家財政の現状

～ ジェネリック医薬品使用拡大の必要性 ～

医療費の増大が国家財政を圧迫

資料出典：
財務省HP
厚労省HP

債務残高の国際比較（対GDP比）

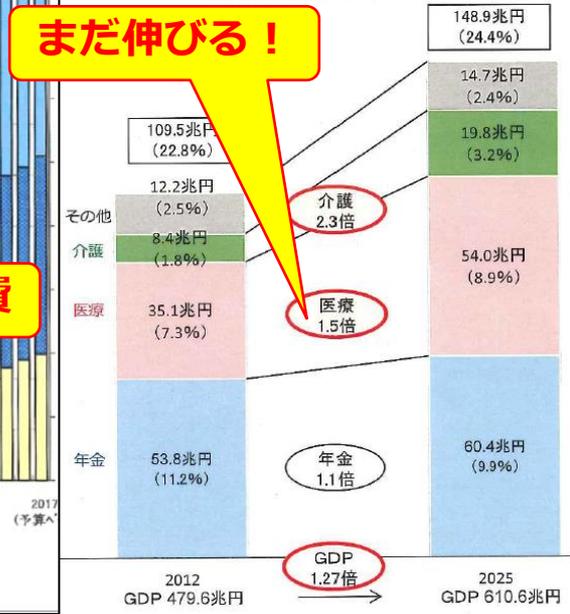


社会保障給付費の推移

1980	1990	2000	2010	2017 (予算ベース)
203.9	346.9	386.0	361.9	404.2
24.8 (100.0%)	47.4 (100.0%)	78.4 (100.0%)	105.4 (100.0%)	120.4 (100.0%)
10.5 (42.2%)	24.0 (50.7%)	41.2 (52.6%)	53.0 (50.3%)	56.7 (47.1%)
10.7 (43.3%)	18.6 (39.1%)	26.2 (33.5%)	33.2 (31.5%)	38.9 (32.3%)
3.6 (14.5%)	4.8 (10.2%)	11.0 (14.0%)	19.2 (18.2%)	24.8 (20.6%)
12.15%	13.67%	20.31%	29.11%	29.79%



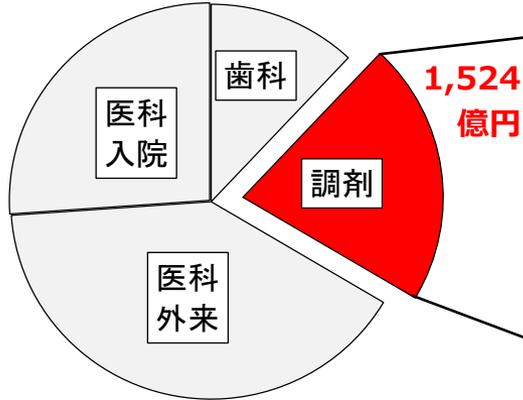
社会保障給付費の見通し



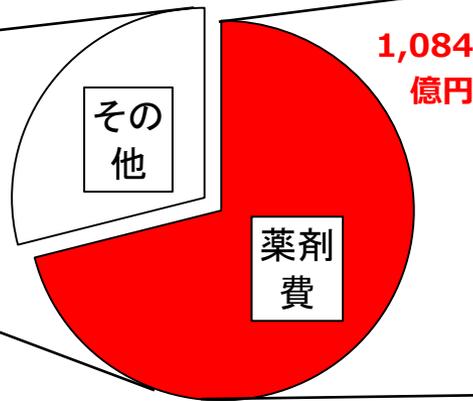
- 日本の債務残高は主要先進国で最悪水準（対GDP比240%）。
- 増え続ける社会保障費（内1/3は医療費）が国家財政を圧迫。
- 財政が破綻したら医療も崩壊。国民皆保険を維持する為に適正化を。**

医療費の『2割は調剤』

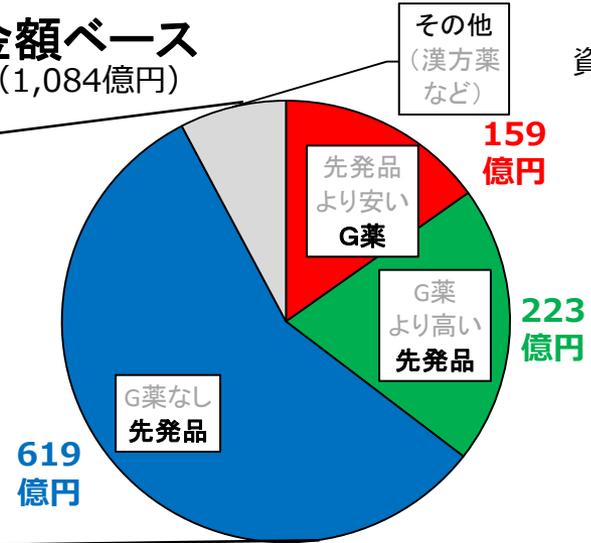
調剤は医療費の2割



薬剤費は調剤の7割

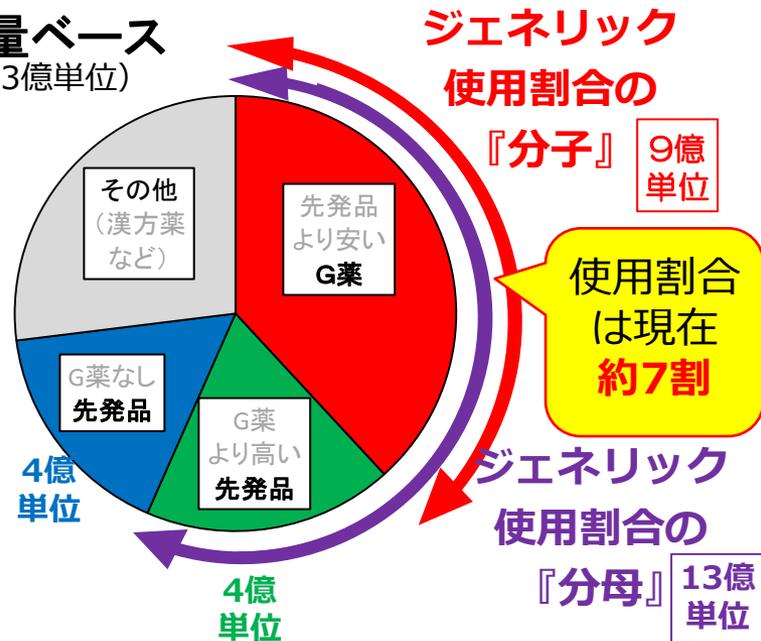


金額ベース
(1,084億円)



資料出典：
平成28年度
協会けんぽ
東京支部の
医療費より

数量ベース
(23億単位)



- ジェネリック医薬品の使用割合は約7割。
- 先発品からジェネリックに切り替わると、調剤数量1単位あたり平均34円の節減。
- 協会けんぽ東京支部470万人の使用割合が80%になれば、年間54億円の節減。
(⇒ 保険料率 9.90% → 9.85% に相当)
(令和元年度)

ジェネリック拡大の財政効果 <簡易推計>

<推計の前提>

- 協会けんぽの調剤データから推計した、『**調剤数量1単位あたり平均34円の節減**』が全ての医療保険者で期待できると仮定。

<推計の考え方>

- **日本全体の調剤医療費**（7兆4,000億円）は、**協会けんぽ東京支部**（1,500億円）の**約50倍**。
↓
- 『ジェネリック薬70%→80%』の財政効果が、協会けんぽ東京支部で年間50億円なら、**日本全体では年間2,500億円**（=50億円×50）…と推計できます。

3. 協会けんぽの取り組み ～ ジェネリック医薬品の使用促進 ～

協会けんぽの主な取り組み

加入者

- ジェネリック医薬品希望シールの配布
- ジェネリック医薬品への切替による軽減額の通知
- 各種媒体を利用した広報

医療提供者

- 自局の調剤状況に基づくジェネリック医薬品に関するお知らせ
- ジェネリック医薬品処方実績リスト **NEW**

データを活用した分析

- ジェネリックカルテ

など

加入者への主な取り組み

全ての加入者に

- ジェネリック医薬品希望シールの配布

先発医薬品を 服用中の加入者に

- ジェネリック医薬品への切替による軽減額の通知

広 報

- ジェネリック医薬品に関すること、協会けんぽの取り組み内容について、**各種媒体を使った広報**
(関係団体広報紙、ホームページ、メールマガジン、Web広告、ラジオ等)

ジェネリック医薬品希望シールの配布

○ 被保険者証の交付するときや「ジェネリック医薬品への切替による軽減額通知」を送付するときと同封。

被保険者証に貼るだけなので、簡単に意思を伝えられる。

※ 実際に貼るかは加入者の任意。



「お薬手帳」用の大きなシールも

健康保険被保険者証	本人（被保険者）	0101
	平成26年 6月25日 付	
	記号 21700023 番号	
氏名	キョウカイ 知ウ 協会 太郎	
生年月日	平成 元年 5月 10日	
性別	男	
資格取得年月日	平成 26年 6月 1日	
事業所名称	<input type="radio"/> 株式会社	
保険者番号	01010016	
保険者名称	全国健康保険協会 <input type="radio"/> 支部	
保険者所在地	<input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 区 <input type="radio"/> 町 <input type="radio"/> - <input type="radio"/> - <input type="radio"/>	

ジェネリック医薬品を希望します。



印

交付枚数（年間）は
東京支部 約181万枚
協会全体 約974万枚

ジェネリック医薬品への切替による軽減額の通知①

- 『服薬中の先発医薬品名』と『軽減可能額（の下限）』などをお知らせ。（通知対象条件は毎年度見直し。）

見本

お薬のせき号：XXXX-XXXX-XXXX

ジェネリック医薬品をお使いいただくと
あなたのお薬代を減らすことができます

1 平成30年10月 に処方されたお薬のうち、以下の医薬品をジェネリック医薬品に変更した場合

2 お薬代の軽減可能額
5,350 円～

平成30年10月 診療分で処方されたお薬(先発医薬品)			ジェネリック医薬品に変更することで 軽減できるお薬代
処方種類/量	お薬名	お薬代 (1ヵ月分)	軽減されるお薬代
3	〇〇〇〇錠10_10mg	5,890	2,710-
	〇〇〇〇〇点眼液(0.1%)	1,850	1,100-
	〇〇〇〇〇テープ100mg	870	260-
	〇〇〇〇〇テープ40mg	2,480	820-
	〇〇〇〇テープ20mg 7cm×10cm	1,230	430-
4	合計	12,130	2
			5,350-

5 この「お薬のせき」は、ジェネリック医薬品への切替をご検討いただく際の参考としてお送りしているものであり、必ずしもジェネリック医薬品に切り替えなければならぬものではありません。

【注意事項】必ずお読みください。

- 処方されたお薬によって副作用のジェネリック医薬品が考えられるため、この「お知らせ」に記載しているお薬に切り替えが適当かどうか、この「お知らせ」に記載された主治医と相談していただくこと。
- この「お知らせ」は、お薬のせき・お薬代を算出する際の参考としてお送りしているものであり、必ずしもジェネリック医薬品に切り替えなければならぬものではありません。
- ジェネリック医薬品に切り替えるために、お薬代が削減されたお薬が、お薬代が削減されません。

1 処方年月
この月に処方されたお薬で、軽減可能額の試算を行っています。

2 お薬代の軽減可能額
ジェネリック医薬品に変更することで軽減できる1か月のお薬代の目安です。
※お薬代以外の診療等に要する費用は含まれていません。

3 お薬名
軽減できるお薬代が高いものを最大で8種類記載しています。

4 お薬代
ジェネリック医薬品に変更する前の1か月のお薬代です。
※お薬代のみを記載していますので、お支払いになった金額とは異なります。

5 注意事項

←通知書
(見本)

ジェネリック医薬品への切替による軽減額の通知②

○ ジェネリック医薬品に関することに加え、医療保険制度の厳しい現状なども併せて広報。（内容は毎年度見直し。）

未来の私たちの健康を支えることにつながります

医療費の抑制が急務!

ジェネリック医薬品の使用は国の医療費を抑え日本の医療保険制度を維持することに繋がります。

既に使用割合が100%になった場合
合計約**3,100**億円の軽減が見込めます

日本の医療費なんて、関係ないと思っ

どうなる? 日本の医療
日本の医療費は年々増加

医療技術の進歩や高齢化等により、日本の医療費は**今後も上昇する見込みです。**

※1 患者の大半は処方されたジェネリック医薬品の使用による医療費削減が期待されています。

ジェネリック医薬品に関する「お知らせ」の見方

見本

1 処方年月	2 処方代	3 軽減可能額
平成30年10月	5,350円	5,350円
2019年10月	5,350円	5,350円
2018年10月	5,350円	5,350円
2017年10月	5,350円	5,350円
2016年10月	5,350円	5,350円
2015年10月	5,350円	5,350円
2014年10月	5,350円	5,350円
2013年10月	5,350円	5,350円
2012年10月	5,350円	5,350円
2011年10月	5,350円	5,350円
2010年10月	5,350円	5,350円
2009年10月	5,350円	5,350円
2008年10月	5,350円	5,350円
2007年10月	5,350円	5,350円
2006年10月	5,350円	5,350円
2005年10月	5,350円	5,350円
2004年10月	5,350円	5,350円
2003年10月	5,350円	5,350円
2002年10月	5,350円	5,350円
2001年10月	5,350円	5,350円
2000年10月	5,350円	5,350円
1999年10月	5,350円	5,350円
1998年10月	5,350円	5,350円
1997年10月	5,350円	5,350円
1996年10月	5,350円	5,350円
1995年10月	5,350円	5,350円
1994年10月	5,350円	5,350円
1993年10月	5,350円	5,350円
1992年10月	5,350円	5,350円
1991年10月	5,350円	5,350円
1990年10月	5,350円	5,350円
1989年10月	5,350円	5,350円
1988年10月	5,350円	5,350円
1987年10月	5,350円	5,350円
1986年10月	5,350円	5,350円
1985年10月	5,350円	5,350円
1984年10月	5,350円	5,350円
1983年10月	5,350円	5,350円
1982年10月	5,350円	5,350円
1981年10月	5,350円	5,350円
1980年10月	5,350円	5,350円
1979年10月	5,350円	5,350円
1978年10月	5,350円	5,350円
1977年10月	5,350円	5,350円
1976年10月	5,350円	5,350円
1975年10月	5,350円	5,350円
1974年10月	5,350円	5,350円
1973年10月	5,350円	5,350円
1972年10月	5,350円	5,350円
1971年10月	5,350円	5,350円
1970年10月	5,350円	5,350円
1969年10月	5,350円	5,350円
1968年10月	5,350円	5,350円
1967年10月	5,350円	5,350円
1966年10月	5,350円	5,350円
1965年10月	5,350円	5,350円
1964年10月	5,350円	5,350円
1963年10月	5,350円	5,350円
1962年10月	5,350円	5,350円
1961年10月	5,350円	5,350円
1960年10月	5,350円	5,350円
1959年10月	5,350円	5,350円
1958年10月	5,350円	5,350円
1957年10月	5,350円	5,350円
1956年10月	5,350円	5,350円
1955年10月	5,350円	5,350円
1954年10月	5,350円	5,350円
1953年10月	5,350円	5,350円
1952年10月	5,350円	5,350円
1951年10月	5,350円	5,350円
1950年10月	5,350円	5,350円
1949年10月	5,350円	5,350円
1948年10月	5,350円	5,350円
1947年10月	5,350円	5,350円
1946年10月	5,350円	5,350円
1945年10月	5,350円	5,350円
1944年10月	5,350円	5,350円
1943年10月	5,350円	5,350円
1942年10月	5,350円	5,350円
1941年10月	5,350円	5,350円
1940年10月	5,350円	5,350円
1939年10月	5,350円	5,350円
1938年10月	5,350円	5,350円
1937年10月	5,350円	5,350円
1936年10月	5,350円	5,350円
1935年10月	5,350円	5,350円
1934年10月	5,350円	5,350円
1933年10月	5,350円	5,350円
1932年10月	5,350円	5,350円
1931年10月	5,350円	5,350円
1930年10月	5,350円	5,350円
1929年10月	5,350円	5,350円
1928年10月	5,350円	5,350円
1927年10月	5,350円	5,350円
1926年10月	5,350円	5,350円
1925年10月	5,350円	5,350円
1924年10月	5,350円	5,350円
1923年10月	5,350円	5,350円
1922年10月	5,350円	5,350円
1921年10月	5,350円	5,350円
1920年10月	5,350円	5,350円
1919年10月	5,350円	5,350円
1918年10月	5,350円	5,350円
1917年10月	5,350円	5,350円
1916年10月	5,350円	5,350円
1915年10月	5,350円	5,350円
1914年10月	5,350円	5,350円
1913年10月	5,350円	5,350円
1912年10月	5,350円	5,350円
1911年10月	5,350円	5,350円
1910年10月	5,350円	5,350円
1909年10月	5,350円	5,350円
1908年10月	5,350円	5,350円
1907年10月	5,350円	5,350円
1906年10月	5,350円	5,350円
1905年10月	5,350円	5,350円
1904年10月	5,350円	5,350円
1903年10月	5,350円	5,350円
1902年10月	5,350円	5,350円
1901年10月	5,350円	5,350円
1900年10月	5,350円	5,350円
1899年10月	5,350円	5,350円
1898年10月	5,350円	5,350円
1897年10月	5,350円	5,350円
1896年10月	5,350円	5,350円
1895年10月	5,350円	5,350円
1894年10月	5,350円	5,350円
1893年10月	5,350円	5,350円
1892年10月	5,350円	5,350円
1891年10月	5,350円	5,350円
1890年10月	5,350円	5,350円
1889年10月	5,350円	5,350円
1888年10月	5,350円	5,350円
1887年10月	5,350円	5,350円
1886年10月	5,350円	5,350円
1885年10月	5,350円	5,350円
1884年10月	5,350円	5,350円
1883年10月	5,350円	5,350円
1882年10月	5,350円	5,350円
1881年10月	5,350円	5,350円
1880年10月	5,350円	5,350円
1879年10月	5,350円	5,350円
1878年10月	5,350円	5,350円
1877年10月	5,350円	5,350円
1876年10月	5,350円	5,350円
1875年10月	5,350円	5,350円
1874年10月	5,350円	5,350円
1873年10月	5,350円	5,350円
1872年10月	5,350円	5,350円
1871年10月	5,350円	5,350円
1870年10月	5,350円	5,350円
1869年10月	5,350円	5,350円
1868年10月	5,350円	5,350円
1867年10月	5,350円	5,350円
1866年10月	5,350円	5,350円
1865年10月	5,350円	5,350円
1864年10月	5,350円	5,350円
1863年10月	5,350円	5,350円
1862年10月	5,350円	5,350円
1861年10月	5,350円	5,350円
1860年10月	5,350円	5,350円
1859年10月	5,350円	5,350円
1858年10月	5,350円	5,350円
1857年10月	5,350円	5,350円
1856年10月	5,350円	5,350円
1855年10月	5,350円	5,350円
1854年10月	5,350円	5,350円
1853年10月	5,350円	5,350円
1852年10月	5,350円	5,350円
1851年10月	5,350円	5,350円
1850年10月	5,350円	5,350円
1849年10月	5,350円	5,350円
1848年10月	5,350円	5,350円
1847年10月	5,350円	5,350円
1846年10月	5,350円	5,350円
1845年10月	5,350円	5,350円
1844年10月	5,350円	5,350円
1843年10月	5,350円	5,350円
1842年10月	5,350円	5,350円
1841年10月	5,350円	5,350円
1840年10月	5,350円	5,350円
1839年10月	5,350円	5,350円
1838年10月	5,350円	5,350円
1837年10月	5,350円	5,350円
1836年10月	5,350円	5,350円
1835年10月	5,350円	5,350円
1834年10月	5,350円	5,350円
1833年10月	5,350円	5,350円
1832年10月	5,350円	5,350円
1831年10月	5,350円	5,350円
1830年10月	5,350円	5,350円
1829年10月	5,350円	5,350円
1828年10月	5,350円	5,350円
1827年10月	5,350円	5,350円
1826年10月	5,350円	5,350円
1825年10月	5,350円	5,350円
1824年10月	5,350円	5,350円
1823年10月	5,350円	5,350円
1822年10月	5,350円	5,350円
1821年10月	5,350円	5,350円
1820年10月	5,350円	5,350円
1819年10月	5,350円	5,350円
1818年10月	5,350円	5,350円
1817年10月	5,350円	5,350円
1816年10月	5,350円	5,350円
1815年10月	5,350円	5,350円
1814年10月	5,350円	5,350円
1813年10月	5,350円	5,350円
1812年10月	5,350円	5,350円
1811年10月	5,350円	5,350円
1810年10月	5,350円	5,350円
1809年10月	5,350円	5,350円
1808年10月	5,350円	5,350円
1807年10月	5,350円	5,350円
1806年10月	5,350円	5,350円
1805年10月	5,350円	5,350円
1804年10月	5,350円	5,350円
1803年10月	5,350円	5,350円
1802年10月	5,350円	5,350円
1801年10月	5,350円	5,350円
1800年10月	5,350円	5,350円
1799年10月	5,350円	5,350円
1798年10月	5,350円	5,350円
1797年10月	5,350円	5,350円
1796年10月	5,350円	5,350円
1795年10月	5,350円	5,350円
1794年10月	5,350円	5,350円
1793年10月	5,350円	5,350円
1792年10月	5,350円	5,350円
1791年10月	5,350円	5,350円
1790年10月	5,350円	5,350円
1789年10月	5,350円	5,350円
1788年10月	5,350円	5,350円
1787年10月	5,350円	5,350円
1786年10月	5,350円	5,350円
1785年10月	5,350円	5,350円
1784年10月	5,350円	5,350円
1783年10月	5,350円	5,350円
1782年10月	5,350円	5,350円
1781年10月	5,350円	5,350円
1780年10月	5,350円	5,350円
1779年10月	5,350円	5,350円
1778年10月	5,350円	5,350円
1777年10月	5,350円	5,350円
1776年10月	5,350円	5,350円
1775年10月	5,350円	5,350円
1774年10月	5,350円	5,350円
1773年10月	5,350円	5,350円
1772年10月	5,350円	5,350円
1771年10月	5,350円	5,350円
1770年10月	5,350円	5,350円
1769年10月	5,350円	5,350円
1768年10月	5,350円	5,350円
1767年10月	5,350円	5,350円
1766年10月	5,350円	5,350円
1765年10月	5,350円	5,350円
1764年10月	5,350円	5,350円
1763年10月	5,350円	5,350円
1762年10月	5,350円	5,350円
1761年10月	5,350円	5,350円
1760年10月	5,350円	5,350円
1759年10月	5,350円	5,350円
1758年10月	5,350円	5,350円
1757年10月	5,350円	5,350円
17		

ジェネリック医薬品への切替による軽減額の通知③

○ **累計の財政効果は協会全体で約1,308億円**
 ⇒ **実施コスト約46.1億円を大きく上回る費用対効果。**

年 度	通知件数	切替件数	切替率	コスト	軽減額 (※)
平成21年度	約145万件	約38万件	26.2%	約7.5億円	約69.6億円
平成22年度	約55万件	約11万件	21.5%	約4.7億円	約16.8億円
平成23年度	約105万件	約25万件	23.8%	約5.0億円	約39.3億円
平成24年度	約124万件	約31万件	25.2%	約4.8億円	約48.0億円
平成25年度	約184万件	約47万件	25.5%	約2.4億円	約83.1億円
平成26年度	約330万件	約89万件	26.6%	約3.9億円	約157.7億円
平成27年度	約375万件	約107万件	28.5%	約4.0億円	約188.5億円
平成28年度	約610万件	約154万件	25.3%	約6.1億円	約270.0億円
平成29年度	約704万件	約215万件	30.5%	約7.7億円	約435.6億円
合計 (全支部)	約2,630万件	約716万件	27.2%	約46.1億円	約1,308億円
再掲 (東京支部)	約307万件	約78万件	25.4%	-	約147億円

(※) 1ヶ月あたりの軽減効果額を年間に換算 (×12ヶ月) した単純推計。

※端数処理のため、合計が一致しない場合がある。

各種媒体を活用した広報の実施

- 協会けんぽ内だけではなく、**各種媒体を活用した広報**の実施。
(関係団体広報紙、ホームページ、メールマガジン、Web広告、ラジオ 等)

協会けんぽ 東京支部 からの **お知らせ**

使ってみよう ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品、皆さんはお使いですか? 「名前が聞いたことがあるけれど、実はよくわからない」という方のために、ジェネリック医薬品をおすすめする3つの理由を解説します。

おすすめ理由1

ジェネリック医薬品は、**安全**なの?

先発医薬品と同等と国から認められています!
次の項目をクリアした薬だけが販売されています。

先発医薬品と同じ 用量・有効成分	薬効や人体への影響
品質や保存性	先発医薬品と同じ基準

おすすめ理由2

ジェネリック医薬品の切り替えは、**簡単**なの?

変更の希望を**医師や薬剤師に伝えるだけ!**
そのほかにもこんな方法があります

保険証やお薬手帳にジェネリック医薬品希望シールを貼って簡単に意思表示!

おすすめ理由3

ジェネリック医薬品は、なぜ**安い**の?

薬の研究開発費がおさえられるから安い!

先発医薬品	ジェネリック医薬品
開発期間 約9~17年	開発期間 約3~5年
開発費用 約300億円以上	開発費用 約1億円以上

協会けんぽ以外の健康保険に加入されている方は、加入先の健康保険組合等にお問い合わせください。
このページの記事の内容に関するお問い合わせは、協会けんぽ東京支部(TEL 03-6853-6111→音声ガイダンス[1])まで

ジェネリック医薬品説明チラシ
(加入者向け)



ジェネリック医薬品

generic drugs

Q&A

全国健康保険協会
協会けんぽ

ジェネリック医薬品Q&A
(加入者向け)

医療提供者への主な取り組み

保険薬局に

- 「**自局の調剤状況に基づくジェネリック医薬品に関するお知らせ**」

協会けんぽ東京支部加入者の受診実績に基づく都内約6,000薬局における自局の位置づけのお知らせ。**（今年度も都内の全保険薬局に送付予定）**

協会けんぽ ホームページで ご案内

- **ジェネリック医薬品処方実績リスト**

協会けんぽ東京支部加入者の医薬品使用実績より作成予定。

NEW



〈医療機関〉

- 「**自局の調剤状況に基づくジェネリック医薬品に関するお知らせ**」は、**医療機関版（院内・院外処方版）も準備中。**

保険薬局へのお知らせ (A3版・表面)

6

6. 貴薬局における後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品

後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品をお知らせします。
 目標80%に達していない医薬品は、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



〒 999-9999
 中野区中野9-9-9

協会けんぽ薬局 御中

ジェネリック医薬品に関する お知らせ

～貴薬局の調剤状況について～

送付件数は、
 平成28年度：約 500薬局
 平成29年度：約1,200薬局
 平成30年度：約6,200薬局

全国健康保険協会（協会けんぽ）の事業運営につきまして、平素より格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 さて、平成29年6月の閣議決定において「2020年9月までにジェネリック医薬品（以下、後発品）の使用割合を80%以上とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。」と定められました。
 協会けんぽといたしましても、加入者の方のお薬代や保険料の負担軽減に繋がることから、後発品の普及促進の取組を積極的に進めています。この取組の一環として、協会けんぽ加入者の方のレセプトを集計し、地域における後発品使用割合等について、薬局様へ情報提供を行っております。後発品の取扱をご検討される際の参考資料として、ご活用いただければ幸いです。

先発品から後発品に変更後、患者に副作用が発生した場合の責任は？

医師が先発医薬品を適正に処方し、変更不可欄に「レ」または「x」の印等のない処方箋について、薬剤師が適正に先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した場合には、仮にその医薬品により副作用被害が発生したとしても、医師や薬剤師にその副作用の責任が生じるものではありません。

適正に使用したにもかかわらず副作用による一定の健康被害が生じた際には、先発医薬品、ジェネリック医薬品のいずれの使用であっても、製造販売業者の社会的責任に基づく提出金等を財源とした「医薬品等副作用被害救済制度^(※)」の対象となり得ます。ジェネリック医薬品であるという理由で救済制度の対象から外れるということはありません。



※医薬品等副作用被害救済制度についてはPMDAのホームページをご覧ください。

厚生労働省：「ジェネリック医薬品への疑問に答えます ～ジェネリック医薬品Q&A～」より

1. 協会けんぽ加入者への調剤状況

「貴薬局」「二次医療圏」「都平均」の後発品にかかる調剤状況をお知らせします。



		貴薬局	二次医療圏平均	都平均
人数	貴薬局にて調剤した協会けんぽの加入者数	9,999人	180人	150人
	後発品を調剤した加入者数	999人	122人	110人
	後発品を調剤した加入者割合	10.0%	67.7%	73.5%
数量	貴薬局の調剤数量	999,999	27,964	22,867
	後発品のある先発医薬品の調剤数量	99,999	5,420	4,084
	後発品の調剤数量	9,999	12,483	11,002
	後発品数量割合	9.1%	69.7%	72.9%
金額	貴薬局にて調剤した医薬品の薬剤金額	999,999円	1,674,228円	1,163,139円
	後発品の薬剤金額（10割）	99,999円	248,996円	202,760円
	後発品金額割合（10割）	10.0%	14.9%	17.4%

※本紙に掲載している情報は、協会けんぽ平成30年10月診療分の調剤レセプトにもとづいて作成しています。

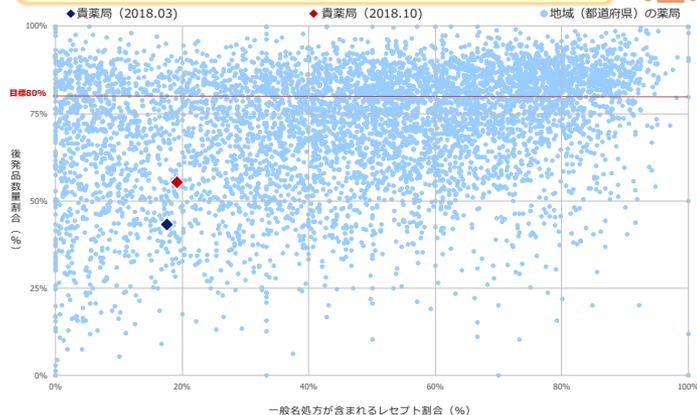
(※ 協会けんぽ加入者の調剤データより)

保険薬局へのお知らせ (A3版・裏面)

②

2. 後発品数量割合と一般名処方に含まれるレセプト割合による貴薬局の位置づけ

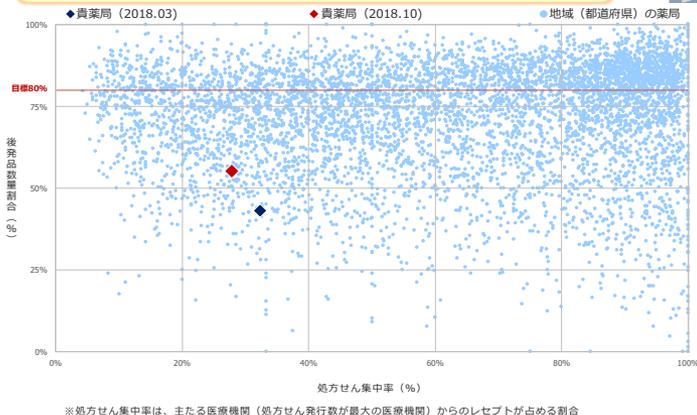
「後発品数量割合(縦軸)」と「一般名処方に含まれるレセプト割合(横軸)」をもとに、貴薬局の位置づけをお知らせします。地域の後発品使用状況を参考にさせていただくとともに、さらなる後発品の使用促進にご協力をお願いします。



③

3. 後発品数量割合と処方せん集中率による貴薬局の位置づけ

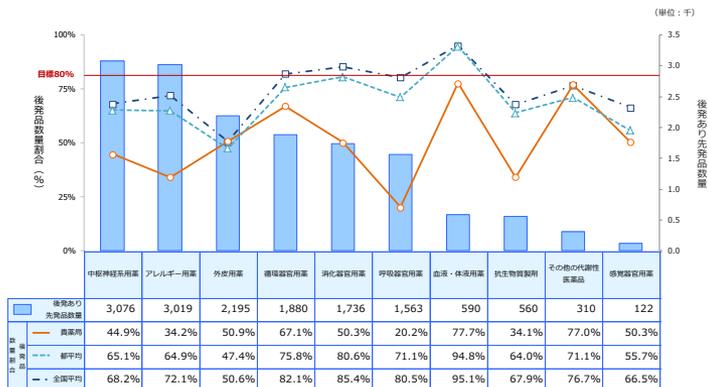
「後発品数量割合(縦軸)」と「処方せん集中率(横軸)」をもとに、貴薬局の位置づけをお知らせします。地域の後発品使用状況を参考にさせていただくとともに、さらなる後発品の使用促進にご協力をお願いします。



④

4. 貴薬局の薬効分類別後発品数量割合

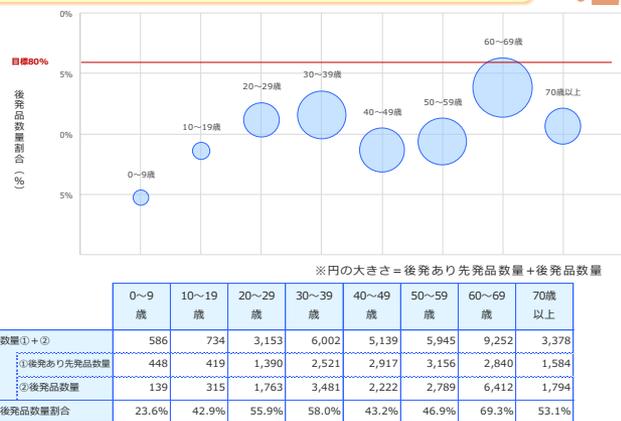
貴薬局における「後発あり先発品」の数量が多い薬効分類上位10種をお知らせします。国目標80%に達していない薬効は、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



⑤

5. 貴薬局の年齢別後発品数量割合

貴薬局における年齢別後発品数量割合をお知らせします。国目標80%に達していない年齢については、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



(※ 協会けんぽ加入者の調剤データより)

○ 自局と平均を比較した「調剤状況」をお知らせ。

1.協会けんぽ加入者への調剤状況

「貴薬局」「二次医療圏」「都平均」の後発品にかかる調剤状況をお知らせします。



協会けんぽ薬局		貴薬局	二次医療圏平均	都平均
人数	貴薬局にて調剤した協会けんぽの加入者数	9,999 人	180 人	150 人
	後発品を調剤した加入者数	999 人	122 人	110 人
	後発品を調剤した加入者割合	10.0 %	67.7 %	73.5 %
数量	貴薬局の調剤数量	999,999	27,964	22,867
	後発品のある先発医薬品の調剤数量	99,999	5,420	4,084
	後発品の調剤数量	9,999	12,483	11,002
	後発品数量割合	9.1 %	69.7 %	72.9 %
金額	貴薬局にて調剤した医薬品の薬剤金額	999,999 円	1,674,228 円	1,163,139 円
	後発品の薬剤金額（10割）	99,999 円	248,996 円	202,760 円
	後発品金額割合（10割）	10.0 %	14.9 %	17.4 %

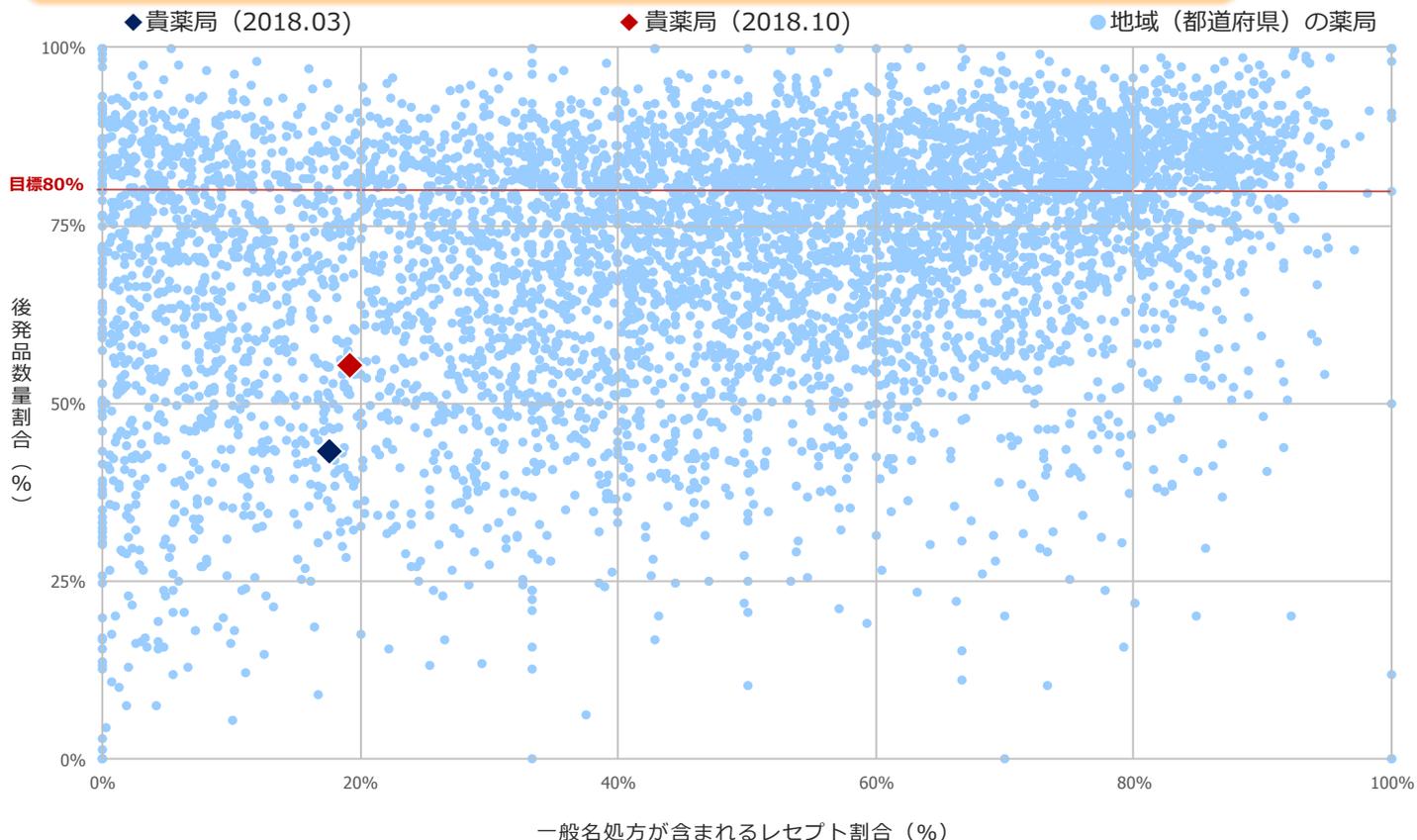
（※ 協会けんぽ加入者の調剤データより）

保険薬局へのお知らせ②

○ 自局の「一般名処方が含まれるレセプト割合」をお知らせ。

2.後発品数量割合と一般名処方が含まれるレセプト割合による貴薬局の位置づけ

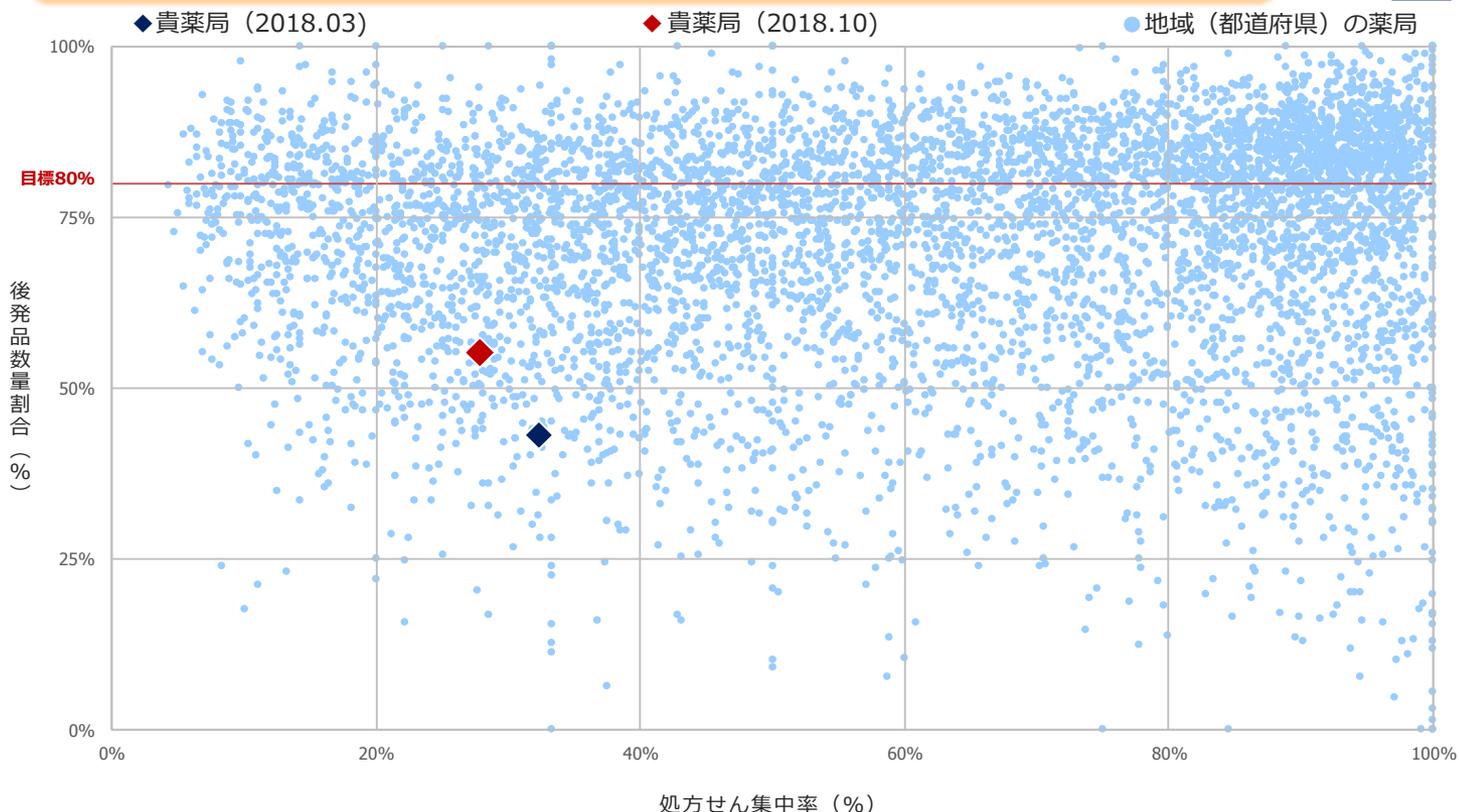
「後発品数量割合（縦軸）」と「一般名処方が含まれるレセプト割合（横軸）」をもとに貴薬局の位置づけをお知らせします。地域の後発品使用状況を参考にさせていただくとともに、さらなる後発品の使用促進にご協力をお願いします。



○ 「主たる医療機関からの処方せんの集中率」をお知らせ。

3.後発品数量割合と処方せんの集中状況による貴薬局の位置づけ

「後発品数量割合（縦軸）」と「処方せん集中率（横軸）」をもとに、
貴薬局の位置づけをお知らせします。地域の後発品使用状況を参考にさせていただくとともに、
さらなる後発品の使用促進にご協力をお願いします。



※処方せん集中率は、主たる医療機関（処方せん発行数が最大の医療機関）からのレセプトが占める割合

保険薬局へのお知らせ④

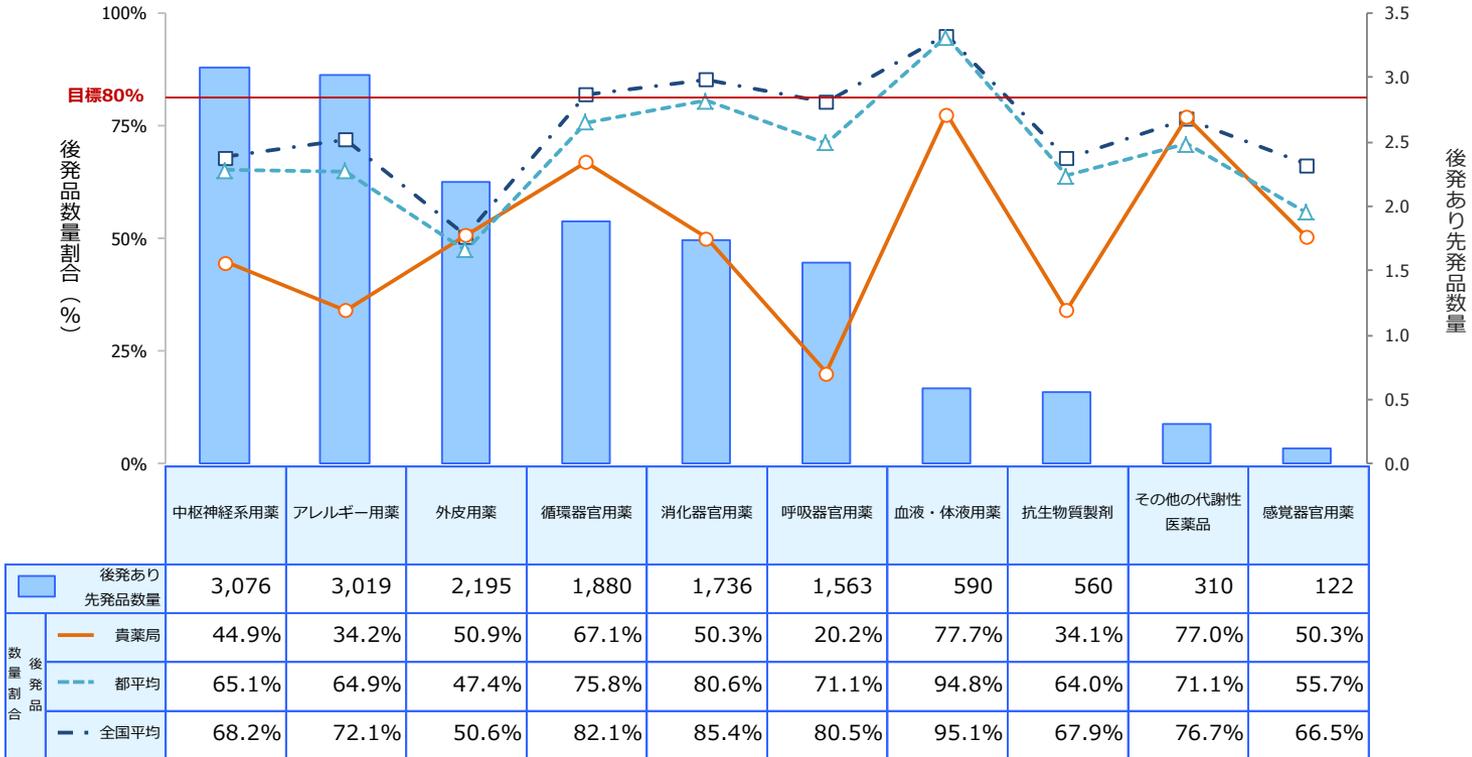
○ 自局の「『後発あり先発品』の数量が多い薬効分類」をお知らせ。

4. 貴薬局の薬効分類別後発品数量割合

貴薬局における「後発あり先発品」の数量が多い薬効分類上位10種をお知らせします。
 国目標80%に達していない薬効は、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



(単位：千)

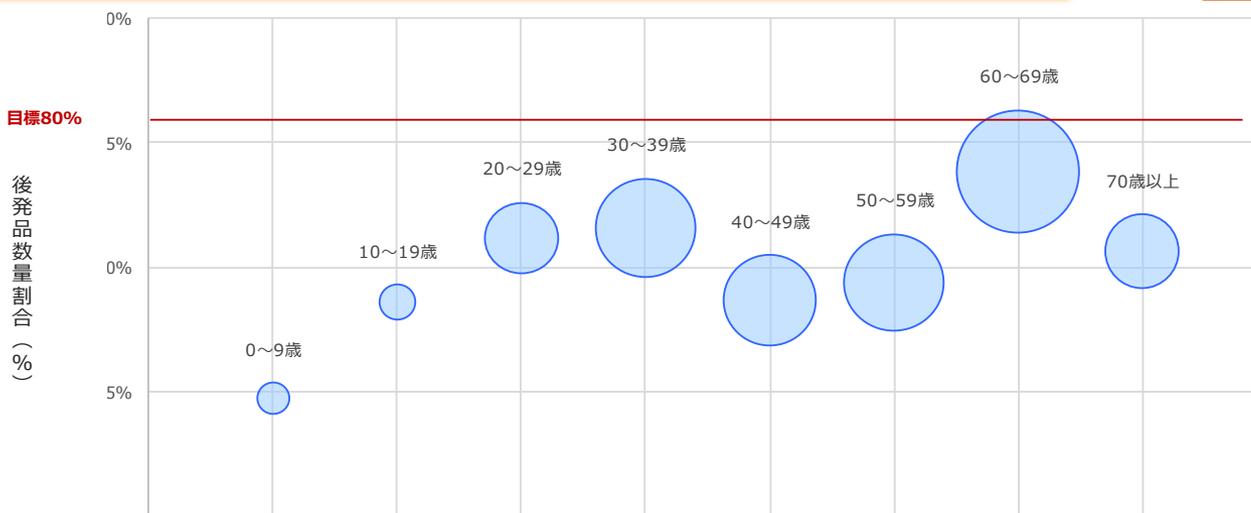


保険薬局へのお知らせ⑤

○ 自局の「患者の年齢別後発医薬品数量割合」をお知らせ。

5. 貴薬局の年齢別後発品数量割合

貴薬局における年齢別後発品数量割合をお知らせします。
 国目標80%に達していない年齢については、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



※円の大きさ = 後発あり先発品数量 + 後発品数量

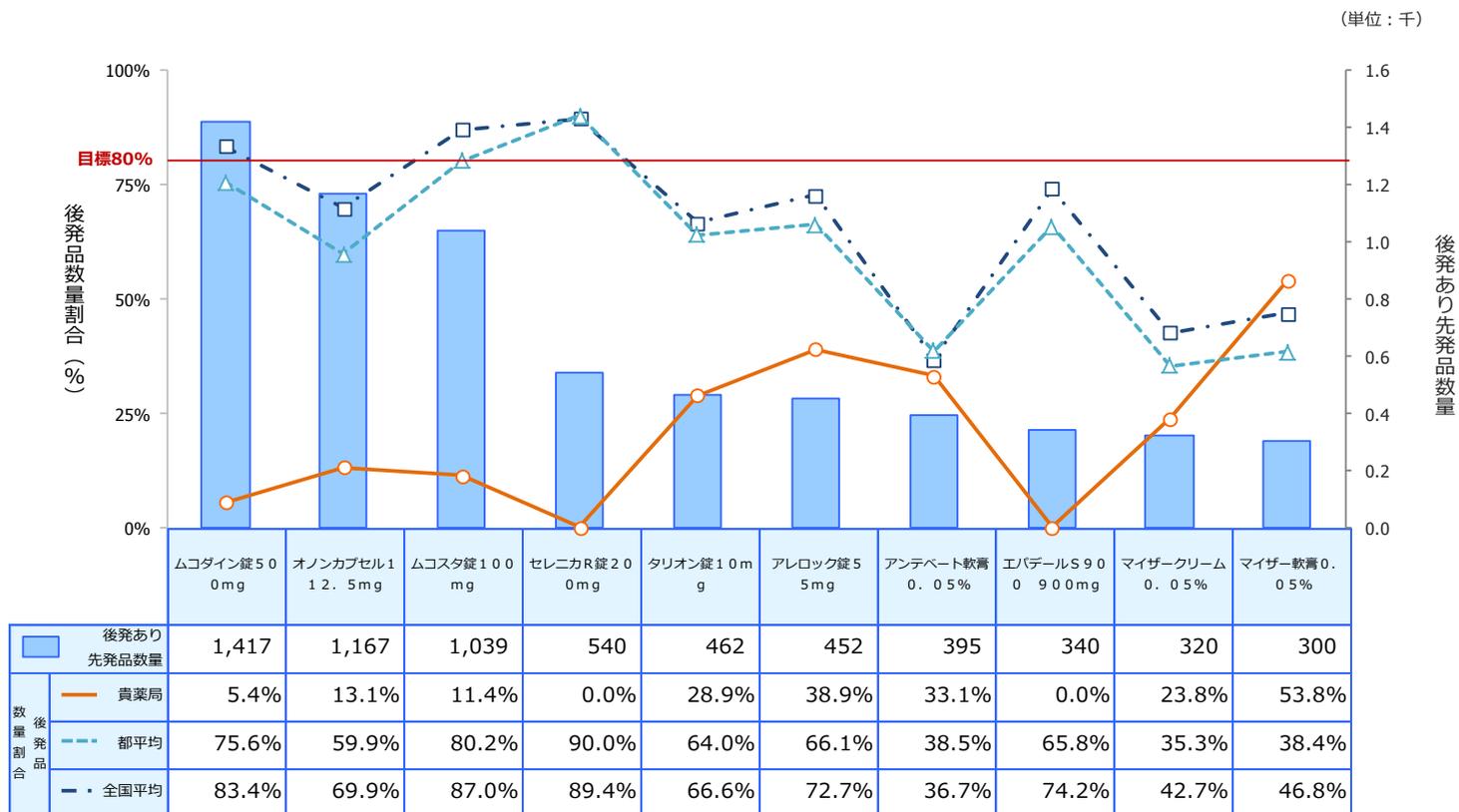
	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
数量①+②	586	734	3,153	6,002	5,139	5,945	9,252	3,378
①後発あり先発品数量	448	419	1,390	2,521	2,917	3,156	2,840	1,584
②後発品数量	139	315	1,763	3,481	2,222	2,789	6,412	1,794
後発品数量割合	23.6%	42.9%	55.9%	58.0%	43.2%	46.9%	69.3%	53.1%

○ 自局の「処方医薬品の中で後発医薬品使用割合向上に寄与する医薬品」をお知らせ。

6. 貴薬局における後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品

後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品をお知らせします。

国目標80%に達していない医薬品は、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。





- 協会けんぽ東京支部加入者の医薬品使用実績より、「**ジェネリック医薬品処方実績リスト**」を作成予定。
- **医療機関・薬局が、ジェネリック医薬品を採用する際の参考**としていただく。

「ジェネリック医薬品処方実績リスト」(イメージ)

No.	薬効分類 4桁	剤形 区分	一般名処方の標準的な記載	単位	先発 後発	医薬品コード	薬価基準コード	商品名	メーカー名	薬価	機関数	患者数	数量
516	2171	内服	【般】アムロジピン錠5mg	錠	先発	612170710	2171022F2025	ノルバスク錠5mg	ファイザー	43.4	1,659	3,433	148,108
					後発					18.7	600	2,670	111,910
					後発					18.7	569	2,378	102,995
					後発					18.7	461	2,149	92,863
					後発					18.7	397	1,825	81,919
					後発					18.7	218	1,675	77,329
					後発					12.9	315	1,410	71,861
					後発					18.7	311	1,476	62,535
					後発					22.7	249	1,105	48,604
					後発					22.7	199	1,178	48,490
					後発					18.7	168	841	37,864
					後発					18.7	148	619	28,246
					後発					18.7	140	640	26,365
					後発					18.7	118	555	24,870
					後発					18.7	70	322	13,932
					後発					18.7	65	297	12,174
					後発					18.7	65	292	11,956
					後発					18.7	36	208	8,549
					後発					22.7	42	211	8,373
					後発					18.7	40	200	8,000

※レイアウトは検討中

協会けんぽ東京支部のホームページに掲載予定

現状分析・
課題の把握

● ジェネリックカルテの作成



- 地域ごとに、医療機関・薬局及び患者それぞれの視点からジェネリック医薬品使用促進の阻害要因※を「見える化」。
- 重点的に取り組むべき分野を明確にし、今後の取り組みに反映。

※ 一般名処方率や院内・院外それぞれにおける使用割合、患者の拒否割合など。

ジェネリックカルテ①

「地域別ジェネリックカルテ（都道府県別）」

二次医療圏別、区市町村別版などもあります

都道府県 コード	都道府県名 ※1	ジェネリック医薬品 使用割合(全体) (※2、3、4、5)	【医療機関の視点】														
			院内処方													院内処方率 (※6)	
			院内処方ジェネリック医薬品使用割合						外来			入院					
偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)			
13	東京	40	70.9	40	59.5	-0.8	52	82.0	+0.0	41	55.8	-0.3	37	56.6	-0.6	59	16.8
-	全体	-	74.6	-	64.6	-	-	81.4	-	-	62.6	-	-	63.1	-	-	22.8

都道府県 コード	都道府県名 ※1	ジェネリック医薬品 使用割合(全体) (※2、3、4、5)	【医療機関の視点】																		
			院外処方													一般名処方率					
			院外処方ジェネリック医薬品使用割合						病院			診療所									
偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)							
13	東京	40	70.9	35	72.9	-3.9	37	72.9	-0.9	36	73.0	-3.0	38	47.9	-2.0	44	29.7	-0.4	34	51.1	-1.8
-	全体	-	74.6	-	77.5	-	-	76.9	-	-	77.8	-	-	52.7	-	-	33.8	-	-	57.1	-

都道府県 コード	都道府県名 ※1	ジェネリック医薬品 使用割合(全体) (※2、3、4、5)	【薬局の視点】						【患者の視点】								
			調剤ジェネリック医薬品使 用割合 (院外処方再掲)			一般名処方限定 調剤ジェネリック 医薬品使用割合 (※8)			院外処方率 (※9)			加入者ジェネリック拒否割 合 (※10)			公費対象者ジェネリック医 薬品使用割合 (※11)		
			偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)	偏差値	指標数値	影響度 (※13)
13	東京	40	70.9	35	72.9	-3.9	33	80.4	59	83.2	38	21.8	-3.7	42	60.2	-0.2	
-	全体	-	74.6	-	77.5	-	-	85.2	-	77.2	-	17.3	-	-	63.6	-	

緑色：偏差値50以上の項目
赤色：偏差値50以下の項目
※色が濃いほど偏差値が高い(低い)

課題は次ページへ

【全体と比べた東京支部の課題（例）】

全体的に赤色で多くの課題があるが、例えば次のような課題が考えられる。

① 一般名処方率自体が低い。

- 一般名処方限定の方がジェネリック医薬品の使用割合は高くなる。
⇒**だが、一般名処方率自体が低い。**

＜ジェネリック医薬品使用割合＞

東京都全体：70.9%（一般名処方限定すると：80.4%）

＜一般名処方率＞

東京都全体：47.9%（全支部平均：52.7%）

② 患者のジェネリック医薬品拒否割合が高い。

＜ジェネリック拒否割合＞

東京都全体：21.8%（全支部平均：17.3%）

【参考】地域別ジェネリックカルテ（都道府県別）

都道府県 コード	ジェネリック医薬品 使用割合(全薬) (※2、3、4、5)	【医療機関の視点】												【薬局の視点】										【患者の視点】																									
		院内処方						院外処方						調剤用ジェネリック医薬品 使用割合(院外処方再掲)					一般処方限定 調剤用ジェネリック 医薬品使用割合 (※8)					加入者ジェネリック拒否 割合(※10)		公費対象者ジェネリック 薬品使用割合 (※11)		全保険者とのジェ ネリック薬品使用 割合の差(※12)																					
		療養施設		診療施設		入院		病院		診療所		入院		病院		診療所		入院		病院		診療所		加入者		公費対象者		全保険者																					
		処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合	処方数	割合																				
01 北海道	56	76.9	54	66.5	+0.4	45	80.0	-0.0	53	65.0	+0.2	52	64.3	+0.1	55	19.3	56	79.3	+1.4	58	79.3	+0.0	54	79.2	+0.7	45	90.8	-0.8	49	32.9	-0.1	51	57.4	-0.1	56	79.3	+1.4	58	87.4	55	80.3	56	15.0	+1.9	54	65.1	-0.1	64	+2.7
02 青森	59	76.0	68	79.5	+1.5	51	81.7	+0.0	49	61.7	-0.0	53	75.1	-1.5	58	17.1	54	78.9	+1.2	43	74.7	+0.5	58	80.4	+1.6	44	92.2	-1.6	41	27.1	-0.7	44	59.0	-0.6	54	79.8	+1.2	63	89.0	58	82.9	68	10.7	+5.5	43	60.6	-0.2	65	+2.9
03 岩手	68	81.6	62	70.5	+1.0	57	83.7	+0.0	46	61.8	-0.3	59	67.9	+0.6	58	17.5	70	83.8	+5.3	73	84.1	+1.6	68	83.7	+3.5	57	55.6	+1.2	48	32.6	-0.1	60	81.0	+1.1	70	83.8	+5.3	68	90.4	58	82.5	66	11.4	+4.9	69	71.3	+0.5	53	+2.8
04 宮城	60	78.4	57	68.1	-0.7	50	81.5	+0.0	48	61.0	-0.0	60	68.3	+0.7	57	18.3	60	80.7	+2.6	56	78.8	+0.4	61	81.3	+2.2	50	92.6	-0.0	45	30.1	-0.4	50	57.0	-0.0	60	80.7	+2.6	61	88.4	57	81.7	61	13.2	+3.3	55	65.6	+0.1	53	+1.9
05 秋田	55	76.6	47	68.1	-0.2	59	84.1	+0.1	60	70.0	-0.2	40	58.1	-0.6	60	16.2	55	79.2	+1.4	63	80.9	+1.3	51	78.2	+2.0	55	54.8	+0.9	71	48.1	+2.2	49	56.9	-0.1	55	79.2	+1.4	58	87.9	60	83.9	55	15.3	+1.4	57	66.6	-0.2	61	+2.0
06 山形	61	79.6	65	72.0	+1.7	54	82.5	+0.0	56	67.0	+0.1	66	71.7	+1.5	51	22.3	60	80.5	+2.4	55	78.4	+0.4	61	81.4	+2.0	61	97.2	+1.7	53	38.2	+0.3	62	81.8	+1.2	60	80.5	+2.4	61	88.3	51	77.7	57	14.6	+2.2	62	68.7	+0.3	43	+0.9
07 福島	55	76.7	62	70.5	+1.3	49	81.1	-0.0	54	65.6	-0.2	65	70.9	+1.2	50	23.1	53	78.5	+0.7	48	76.2	-0.1	55	79.9	+0.9	46	51.0	-0.6	32	21.1	-1.3	52	57.8	-0.2	53	78.5	+0.7	54	88.5	50	76.9	54	15.8	+1.3	50	63.7	-0.0	61	+2.5
08 茨城	49	74.2	47	63.1	-0.3	51	81.6	+0.0	53	64.7	+0.1	45	60.4	-0.4	55	19.4	48	76.8	-0.6	49	76.7	-0.1	47	76.9	-0.5	49	92.2	-0.2	57	38.9	+0.7	48	76.8	-0.6	45	83.8	55	80.6	48	11.1	-0.4	61	68.0	-0.2	53	+1.8			
09 栃木	49	74.1	47	63.0	-0.5	45	79.7	-0.0	60	70.1	+0.7	41	58.2	-0.9	39	30.4	54	76.7	+0.8	48	76.2	-0.1	56	79.6	+0.9	64	58.2	+1.9	56	37.7	+0.4	64	82.4	+1.3	54	79.7	+0.8	48	84.7	39	69.4	44	19.4	-1.8	44	61.3	-0.2	58	+2.2
10 群馬	52	75.2	57	67.8	+1.1	48	80.8	-0.0	52	63.8	+0.1	59	68.0	+1.3	32	35.0	55	79.2	+1.1	53	77.7	+0.2	57	79.9	+0.9	53	54.1	+0.4	42	27.9	-0.6	61	81.0	+0.8	55	79.2	+1.1	54	86.5	32	65.0	60	13.6	+3.0	59	67.3	-0.2	29	-0.0
11 埼玉	53	79.7	50	64.4	-0.0	49	81.0	-0.0	54	65.9	+0.1	48	62.1	-0.1	57	18.4	52	78.2	+0.6	54	78.1	+0.3	51	78.2	+0.3	51	93.3	+0.2	48	32.3	-0.2	53	58.2	+0.3	52	78.2	+0.6	54	86.3	57	81.6	53	16.2	+0.9	59	67.4	-0.2	50	+1.0
12 千葉	54	76.1	53	66.1	-0.3	56	83.3	+0.0	63	72.5	+0.4	47	61.5	-0.2	57	18.3	53	78.3	+0.7	53	77.9	-0.2	52	78.5	+0.4	46	51.2	-0.4	52	35.1	-0.2	45	55.3	-0.5	53	78.3	+0.7	49	84.9	57	81.7	48	18.0	-0.4	58	66.7	-0.2	57	+2.1
13 東京	40	70.9	40	59.3	-0.8	52	82.0	+0.0	41	55.8	-0.3	37	56.6	-0.6	59	16.8	35	72.9	-3.9	37	72.9	-0.2	36	73.0	-3.0	38	47.9	-2.0	44	29.7	-0.4	34	51.1	-1.8	35	72.9	-3.9	33	80.4	59	57.2	48	11.0	-3.7	42	60.2	-0.2	53	+1.8
14 神奈川	50	74.5	49	64.3	-0.0	62	89.2	+0.1	61	71.2	+0.3	38	57.1	-0.5	64	12.9	45	75.9	+1.4	52	77.5	+0.1	43	75.4	+1.0	48	92.0	-0.3	60	40.6	+0.7	42	53.9	-1.0	45	75.9	+1.4	41	82.6	64	87.1	44	19.3	-1.8	57	66.6	+0.2	59	+2.3
15 新潟	54	76.2	38	58.7	-1.0	28	74.6	+0.1	27	44.7	-1.2	57	68.8	+0.0	57	18.2	57	78.8	+1.9	44	75.0	-0.5	62	81.7	+2.1	61	58.9	+1.7	47	31.7	-0.2	63	82.0	+1.4	57	79.8	+1.9	60	86.2	57	81.8	54	15.9	+1.2	48	62.8	-0.1	56	+2.0
16 富山	53	75.9	54	68.4	+0.6	66	86.3	+0.1	51	63.7	-0.1	55	65.6	+0.5	37	11.8	59	80.3	+1.5	54	78.1	+0.3	62	81.8	+1.6	53	54.0	-0.4	46	30.9	-0.4	65	82.7	+1.1	59	80.3	+1.9	57	87.2	37	68.2	57	14.9	+2.0	51	64.2	+0.0	50	+1.5
17 石川	52	79.3	54	68.4	+0.5	55	82.8	+0.0	53	64.7	+0.1	54	65.1	+0.4	40	29.8	55	79.2	+1.2	55	78.4	+0.5	56	79.8	+0.8	52	53.4	+0.2	45	30.2	-0.4	67	83.4	+1.2	55	79.2	+1.2	49	85.0	40	70.1	44	19.5	-1.8	61	68.2	-0.4	47	+1.2
18 福井	52	76.2	62	70.3	+2.5	52	81.9	+0.0	59	69.7	+0.7	63	69.7	+2.1	20	43.0	55	79.0	+0.4	57	79.0	+0.4	53	78.9	+0.4	69	60.2	+2.1	80	56.4	+2.7	65	82.6	+0.8	55	79.0	+0.8	48	84.5	20	57.0	38	21.5	-3.5	54	65.2	+0.1	31	-0.1
19 山梨	38	74.0	44	61.5	-0.6	62	85.3	+0.1	63	72.2	+0.3	37	56.8	-0.9	57	18.2	32	71.9	-4.6	39	73.5	-1.0	30	71.0	-3.5	24	42.4	-4.1	30	19.7	-2.0	29	49.3	-2.0	32	71.9	-4.6	34	80.5	57	81.8	34	23.0	-4.7	42	60.4	-0.2	32	-0.0
20 長野	56	77.1	52	65.4	-0.2	58	84.0	+0.0	49	61.9	-0.0	52	64.3	-0.2	52	21.4	59	80.3	+2.2	60	80.1	+1.0	58	80.4	+1.3	47	51.5	-0.4	49	32.1	-0.1	52	57.9	-0.2	59	80.3	+2.2	56	81.8	57	15.0	+1.9	56	66.3	-0.2	43	+0.9		
21 岐阜	45	72.8	44	61.7	-0.7	40	78.3	-0.1	32	48.8	-0.8	53	64.5	+0.2	46	25.8	47	76.8	-0.7	45	75.3	-0.3	48	77.0	-0.4	60	59.6	+1.4	52	35.3	+0.2	60	60.9	+1.0	47	76.8	-0.7	46	81.6	42	39.4	-2.3	45	61.4	-0.1	49	+2.3		
22 静岡	53	75.7	48	63.7	-0.3	42	78.8	-0.0	52	64.4	+0.1	47	61.4	-0.2	52	21.4	54	78.9	+1.1	52	77.4	+0.1	54	79.2	+0.9	61	56.8	+1.6	52	35.0	+0.1	58	80.0	+0.9	54	79.9	+1.1	54	86.3	52	78.8	38	21.7	-3.4	54	65.5	+0.1	54	+1.9
23 愛知	47	73.6	44	61.4	-0.9	43	79.2	-0.0	45	58.8	-0.3	46	60.9	-0.4	42	28.1	52	78.2	+0.0	51	77.3	+0.1	52	78.4	+0.1	62	57.4	+1.7	52	34.8	+0.1	61	81.1	+1.1	52	79.2	+0.9	51	85.6	42	71.9	45	19.2	-1.5	40	59.5	-0.3	58	+2.2
24 三重	49	74.4	47	63.0	-0.4	42	76.9	-0.0	41	56.1	-0.4	51	63.6	+0.1	42	28.3	54	78.8	+0.8	50	76.9	-0.0	55	79.5	+0.9	61	57.0	+1.5	59	28.0	-0.7	64	82.2	+1.3	54	78.8	+0.9	56	87.0	42	71.7	51	17.0	+0.3	49	63.3	-0.0	52	+1.7
25 滋賀	55	76.5	57	68.1	+0.7	57	83.6	+0.0	64	73.7	+0.2	55	66.0	+0.5	55	19.7	53	78.5	+0.0	49	76.6	-0.1	55	79.4	+0.9	45	50.8	-0.7	39	28.0	-1.0	51	57.3	+0.1	53	79.5	+0.8	53	80.0	55	80.3	48	18.0	-0.5	45	61.4	-0.2	66	+2.9
26 京都	39	70.4	46	62.4	-0.7	45	79.9	-0.0	40	55.3	-0.2	48	62.3	-0.2	36	32.4	40	73.9	-0.6	40	73.9	-0.6	40	74.5	-1.3	32	45.7	-2.3																					

国民皆保険制度を維持する為の

ひとつの方策として、

ジェネリック医薬品の普及・拡大に

『All Tokyo』で協力して

取り組んでいきましょう。

どうぞ宜しくお願い致します。

全国健康保険協会 東京支部